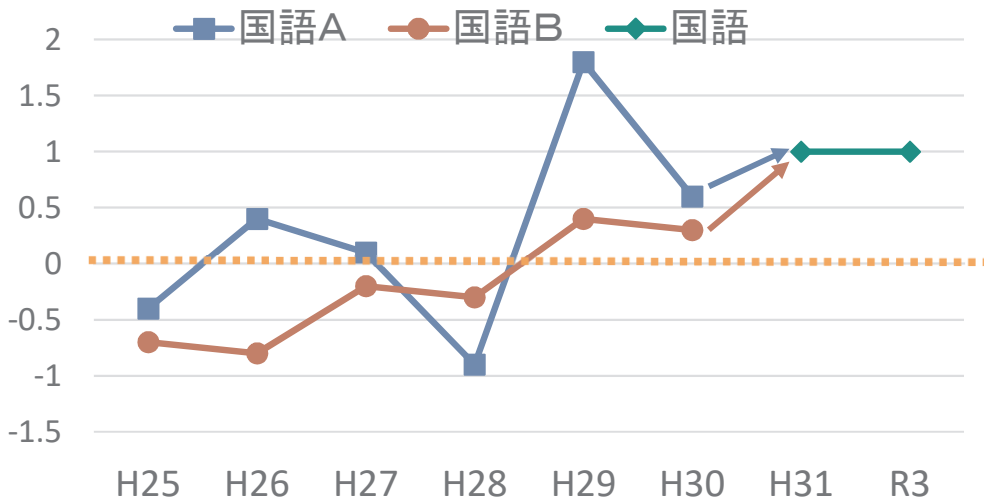


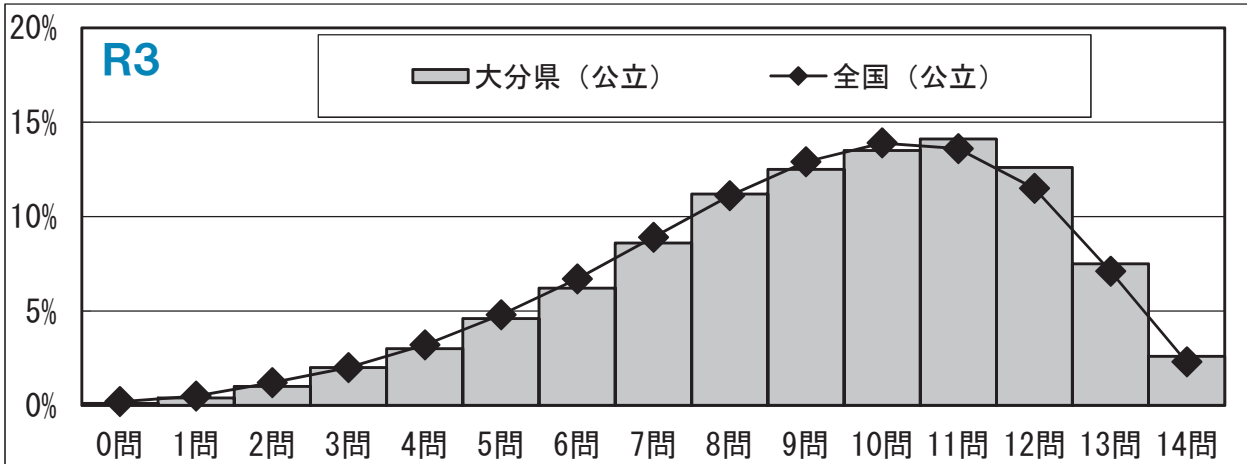
## 結果のポイント

### 1 全国平均との差の経年変化



○全国平均を上回っており、H31と同程度である。

### 3 正答数度数分布



## 2 領域別の結果

領域	県	全国平均
話すこと・聞くこと	82.1	79.8
書くこと	58.1	57.1
読むこと	49.1	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.5	75.1

○全ての領域で、全国平均を上回る。  
 ▲「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」問題の無解答率が10.8%であり、全国平均を下回る。

## 3 観点別の結果

領域	県	全国平均
国語への関心・意欲・態度	57.2	56.0
話す・聞く能力	82.1	79.8
書く能力	58.1	57.1
読む能力	49.1	48.5
言語についての知識・理解・技能	75.5	75.1

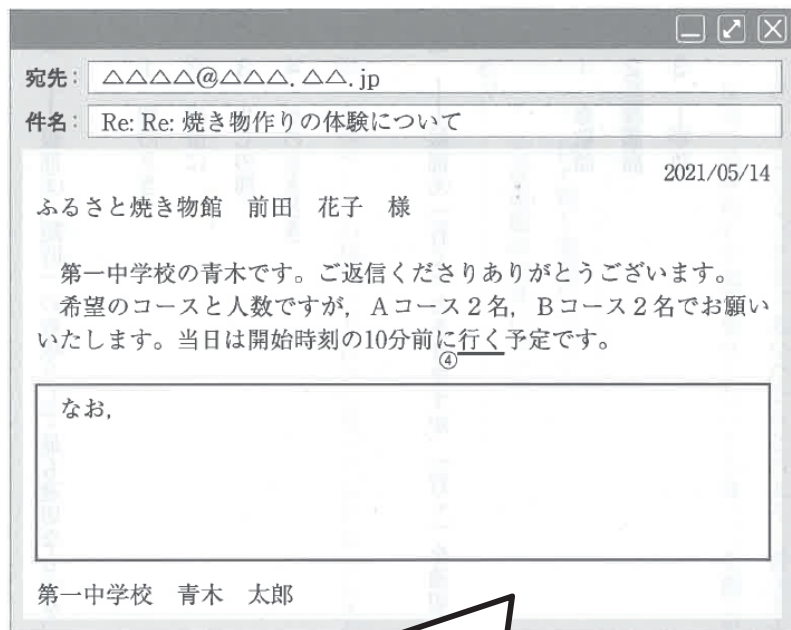
○全ての領域において全国平均を上回る。

○低学力層の生徒の割合(正答率20%以下)が全国平均より少ない。  
 ○正答数が全国平均以上(9問以上)の生徒は62.8%であり、全国値61.3%を上回る。

## 課題が見られた問題と指導の改善

### 1 正答率が低かった問題

大問4 設問四 【平均正答率 大分県71.2% 全国71.9%】  
伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書くことができるかどうかをみる。



青木さんが送信する【二回目のメールの下書き】

〈確認事項〉  
・持ち物と服装について  
・写真撮影の許可について

四 【メールの下書き】の  の部分に、事前に確かめておきたいこととして、〈確認事項〉について書く場合、どのように書か。相手に失礼のない表現で書くこと。

### 指導の改善

#### 【学習指導のポイント】

目的や意図に応じて、読み手に分かりやすく伝わるように書くことができるようにする。

- 伝えたいことを読み手に分かりやすく伝えるためには、目的や意図に応じて説明や具体例を加えたり、表現しようとする内容に最もふさわしい語句を選んで描写を工夫したりするように指導することが大切である。
  - 指導に当たっては、以下のような例が考えられる。
    - ・社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなどの学習活動。その際、音声言語としての話し言葉と文字言語としての書き言葉の特徴について理解するように指導する。
    - ・職場体験に関する問合せのメールに対して回答するメールの文章を書く。その際、相手の要望を的確に捉え、相手や目的に応じて内容や構成を工夫し、必要な情報を過不足なく書くことを意識させる。
- (※「平成27年度【中学校】授業アイデア例」を参照)